

■平成26年度執行目標（達成状況） 建設部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	達成状況	主な成果・課題等	項目 (単位)	根拠計画 等	H26 実績値	H26 目標値
建設部	指導検査課	1	木津川右岸宇治木津線道路新設の促進	木津川右岸宇治木津線の計画路線への格上げ並びに早期の道路整備を求めて、木津川右岸宇治木津線道路新設促進協議会を通じた要望活動を強力に展開していく。	優秀に達成（困難事項・成果大等）	国により、宇治・木津川周辺地域道路整備調査が実施されたが、次のステップとして宇治木津線の名前が明記された調査（優先区間の絞込み調査や計画段階調査）を獲得できるよう、協議会による要望活動を強化した。その結果、平成27年度の国の予算において、宇治木津線の名前が初めて明記された「計画段階評価を進めるための調査」を獲得することができた。	要望実施件数（件）		5	2
建設部	指導検査課	2	電子入札の円滑な導入、電子化の推進	全ての建設工事、コンサルタント業務において、京都府電子入札システムを使用して、電子入札方式による入札を実施します。平成25年度の実績を踏まえて、さらに啓発等を行い、全面電子化による入札の定着化を図る。	優秀に達成（困難事項・成果大等）	平成26年度から電子入札を全面実施（機器の不具合やカード更新等のやむを得ない場合を除き、紙での入札は認めない取扱いとした。）これに先立ち、市内業者に対しては、個別通知や市ホームページにおいて周知を行うとともに、電子の手続きが完了していない者に対しても、個別の状況把握や問合せ・相談等を実施しバックアップを図ってきたところであり、電子入札の全面実施に円滑に移行することができた。また、電子入札の実施にあたっては、複数でのチェックの徹底や内訳書の重点調査等により、入札業務を適正に執行した。				
建設部	建設課	1	年度内における適切な事業執行（道路改良事業等）	・年度内の事業につきまして、より積極的に関係者との協議を行い適切な年度内完了を目指す。 （市道加1-6号線道路改良工事、木津山田川線道路改良工事、市道加2-15号線道路改良工事、西垣外加茂線道路改良工事、内垣外内田山線道路改良工事、市道木171号北之庄山田川線道路改良工事、市道木15号車谷切通線交差点改良工事、木津川市管理橋補修工事、準用河川井関川改修工事、以上9件）	概ね達成	西垣外加茂線と内垣外内田山線外1線道路改良工事について、用地買収で一部の用地が、買収不可能になった。そのため、次年度以降用地買収する場合、土地開発公社に先行取得してもらおうなどの取得方法を検討している。市道木335号木津山田川線においては、木津交差点から市役所まで年度内に完了し、歩行者や車両のスムーズな通行が確保された。	工事件数（件）		9	9
建設部	建設課	2	市営住宅使用料の徴収率向上を目指す	次のような取り組みにより、市営住宅使用料の徴収率向上を目指す ・督促状の送付 ・電話による自主的な納付の呼びかけ ・訪問 ・呼び出し	優秀に達成（困難事項・成果大等）	目標徴収率96%にすることができた。次年度においても、引き続き市営住宅使用料の徴収率向上を目指す。	市営住宅使用料の現年度徴収率（%）		96	96
建設部	まちづくり事業推進室	1	国道及び府道の新設改良事業の整備促進	国道及び府道の新設・改良にかかる関係機関や地元住民等との連絡調整により、今年度事業計画に基づき遂行することを目指す。また、下記項目に対して関係機関（国・府）へ積極的な要望活動を実施する。 ・国関連：国道163号木津東バイパス（都市計画道路 天神山線）の早期完成 国道24号歩道整備事業の早期完成 ・府関連：都市計画道路 東中央線の早期完成	概ね達成	国施工である木津東バイパスについては計画説明等、難航していた地権者から昨年12月に同意を得た。現在、用地交渉も前向きに進んでいる。買収契約が成立すれば100%の達成となる。府施工の東中央線についても用地買収率が90%を超え、あと数名の地権者が残っているが今後も府と連携をもち、交渉にあたる。	協力依頼交渉延べ軒数（軒）		60	80
建設部	管理課	1	木津川市都市公園・緑地施設等市民自主活動支援の推進	木津川市都市公園・緑地施設等市民自主管理活動支援要綱に基づき地域の団体に自主管理活動を行っていただけるよう啓発活動、募集活動に取り組む。	概ね達成	街区公園17箇所・都市緑地2箇所・緑道2箇所、計21箇所の公園緑地について、12団体より市民自主活動の申出があり、平成27年度より実施して頂くこととなった。市内には、まだまだ小さな街区公園があることから、引き続き広報やホームページ等に掲載を行い、参加団体を募る必要がある。	自主管理活動公園箇所数（箇所）		21	20
建設部	管理課	2	木津川市道の交通安全対策の推進	木津川市道の危険箇所を早期に発見することで、道路の安全確保につながるため、外部団体等に協力を呼びかける啓発活動に取組み、協定を締結する。	概ね達成	本目標は平成25年度からの継続目標であり、山城木津郵便局と平成27年1月26日に「道路損傷等による危険箇所の情報提供に関する協定書」を締結することができた。今後、山城木津郵便局からの情報を含めて、道路の日常管理を行い交通事故防止や安全確保を図って行きたい。				
建設部	都市計画課	1	木津駅前地区の土地有効活用検討	木津駅前周辺の活性化を図るため庁内関係課とワークショップを行い、駐車場・駐輪場・商業施設・公共施設等の検討を実施する。今年度は、商業等専門家の意見を取り入れ、整備方針策定に取り組む。	一部未達成（成果小）	関係機関等から駅前活性化に向けたヒアリングを行い、実施可能事業者等から情報収集を行った。また、今後の公募等も含めて、商工会に事業実施等の打診を行った。今後の方向性としては、土地を売却せずに賃貸で、プロポーザル方式で条件を設定し、立体駐車場を含む商業施設を平成27年度に公募手続きを行う。				
建設部	都市計画課	2	開発指導要綱箇所図作成	開発指導要綱により協議した箇所を地図へ落とし込み、現場状況を確実に把握出来るようにする。	概ね達成	年度内に開発指導要綱により協議した箇所を地図へ落とし込み完了。現場状況を確実に把握出来るようになった。今後も引き続き継続し、協議箇所の落とし込みを行う。				
建設部	木津北地区保全推進室	1	学研木津北地区の現状把握と管理用道路の整備	学研木津北地区の保全を推進する。具体的には、土地所有状況や現況を把握し、今後の保全活動の基礎資料作りを進める。また、市有地の保全のために、管理用道路の整備を進める。	概ね達成	・土地所有状況や現況の把握に努めた。 ・活動団体との協働により、管理用道路の整備に努め、目標を大きく上回る成果を得た。 ・2回目の応援団会議が開催できなかった。今後、開催に向け、検討課題等の整理を早急に行う。	管理用道路の整備（m）		1,000	120

■平成26年度執行目標（達成状況） 建設部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	達成状況	主な成果・課題等	項目 (単位)	根拠計画 等	H26 実績値	H26 目標値
建設部	農政課	1	有害鳥獣対策 (防除柵設置推進)	鳥獣による農作物被害が増加する中、これまで捕獲活動を中心として農作物被害の軽減につとめてきたが、鳥獣の出没を限定できる効果がある防除柵を設置し、捕獲効率を高め、農作物被害ないし生活環境被害の軽減につとめる。 また、国の補助金を活用することにより、市単独補助事業の削減を図る。	概ね達成	防護柵を設置する地区と設置場所を決定し、バッファゾーンを整備した後、防護柵を設置した。今後も、防護柵設置の要望があれば、対応していく。	防除柵設置延長 (m)	木津川市 鳥獣被害 防止計画	10000	10000
建設部	農政課	2	田園環境整備マ スタープランの 策定	農業農村整備事業の補助事業を実施する場合、田園環境マスタープランの策定が必要となるため、平成14年度に旧木津町が作成した木津町田園環境整備マスタープランを参考とし、木津地域、加茂地域、山城地域の「木津川市田園環境マスタープラン」を今年度中に策定する。	概ね達成	田園環境マスタープラン作成のため、委託業務実施設計を作成。入札を実施し、業者を決定（内外エンジニアリング㈱）。その後、田園環境マスタープランの計画協議を行ない、計画（案）を作成。農業委員会、市内土地改良区の意見を聴取（意見なし）。最終計画（案）を調整会議、政策会議に諮り、決定。事業の実績報告を行なった。				